

市民参加で作るくらしのしくみ～

「ジェンダー平等」と「メディア」の現場を訪ねる

韓国スタディーツアー²⁰¹⁹



※写真は昨年度のツアーの様子です。

韓国の女性たちの #MeToo, #WithYou の声は多くの共感を呼び、大きなムーブメントとして韓国社会を動かしています。また権力を監視し発信していくメディアの役割も韓国では大きな存在となっています。

今年のスタディーツアーのテーマは「ジェンダー平等」と「メディア」。共通する課題でありながら、実践の場では韓国に学ぶべき点が多いテーマです。ソウルのいくつかの現場を訪ねて、課題や実践の状況を学び、私たちの暮らす日本に大切なヒントを持ち帰りしたいと思います。韓国の人々に共感し、ともに歩みを進めるスタディーツアーです。

2019年10月18日(金)～21日(月) 3泊4日

旅行代金 98,000円 *左記費用以外に、空港税・燃油サーチャージ(約8,200円)が必要です。
*一人部屋をご希望の場合は15,000円が追加になります。

定員 20名 (最少催行人員13名)

申込締切 第1次締切 8月31日(土)
第2次締切 9月13日(金)




詳細はコチラから！

現地プログラムに関するお問い合わせは
旅行企画 公益財団法人早稲田奉仕園
www.hoshien.or.jp/program/

TEL 03-3205-5403
MAIL program@hoshien.or.jp
〒169-8616 東京都新宿区西早稲田2-3-1

※諸事情により日程が変更になる場合があります。
 ※昼食:女性が主体となった、社会的に意味のある食堂などを予定しています。

日付	午前	午後	夜
10/18 (金) ソウル泊	OZ1055 羽田 9:00 発—金浦 11:20 着 (機内食あり)	★ソウル市女性家族支援財団訪問 担当者よりソウル市のジェンダー 平等の主要政策について聞く ★ソウル女性プラザ見学	★懇親会
10/19 (土) ソウル泊	★開かれた女性センター訪問 女性ホームレスの支援活動と シェルター見学	★韓国女性の家訪問 性売買被害者の回復と自立のため の施設	自由行動
10/20 (日) ソウル泊	★「ハンギョレ新聞」訪問 権力と資本から独立した編集をする マスメディアの社内見学	★民主人権記念館（パク・ジョン チョル記念室）見学 1987年民主化闘争中、ソウル大生 が拷問死した現場	★自由行動または、 市民団体と交流
10/21 (月)	★韓国性暴力相談所訪問 性暴力被害者支援と共に法改正や制度 づくりにも積極的に取り組む団体	金浦空港にて解散 OZ1045 金浦 15:30 発—羽田 17:35 着 (機内食あり)	 詳細はコチラから！

- 利用予定航空会社 アシアナ航空など
- 利用予定ホテル ソウル市内：現代レジデンスまたは同等クラスのホテル

2つのテーマに沿ったフィールドワーク

①ジェンダー平等と女性たちの運動

ソウル市の主要な政策についてのレクチャーを受け、性差別、性暴力、貧困、家庭内暴力、制度改革など様々な課題と取り組む団体を訪ねます。

한국성폭력상담소



②韓国メディアは何を目指すのか

元日本特派員の記者からハンギョレ新聞の姿勢や日本のメディアとの比較、日韓を取り巻く情勢などについても聞き、社内見学をします。

한겨레신문(주)
 한겨레신문사
 한겨레신문사
 HANKYOREH MEDIA
 HANKYOREH MEDIA
 HANKYOREH MEDIA

「民主人権記念館（パク・ジョンチョル記念室）」見学

1987年の民主化闘争の発火点となったソウル大生朴鍾哲君拷問死事件の現場。当時、韓国公安警察の対共分室は、その所在地から「南営洞」と呼ばれ、国内活動家への拷問機関として恐れられていました。



旅行代金に含まれるもの

航空運賃、宿泊料金(2人部屋基準)、朝食(2回)、通訳同行費、韓国内交通費

旅行代金に含まれないもの

朝食1回・昼食・夕食代、懇親会費、自由行動時の経費、海外旅行保険料、空港税・燃油サーチャージ(約8,200円)

オリエンテーション

10/5(土) 10:30~12:00 場所: 早稲田奉仕園
 *オリエンテーションは必ずご参加ください。

注意事項

このツアーには添乗員は同行しません。早稲田奉仕園スタッフおよび通訳が現地係員として同行します。

キャンセル規定

ご出発の前日から起算して
 20~8日前:旅行代金の20%、7~2日前:旅行代金の30%、
 前日:旅行代金の40%、当日(旅行開始前):旅行代金の50%、
 当日(旅行開始後):旅行代金の100%